

全国重症心身障害児（者）を守る会  
第35回 関東・甲信越ブロック大会実施要綱

テ ー マ： < いのち輝かせるために >  
～ 生まれてきてくれてありがとう・ 出会ってくれてありがとう～

目 的： 「この子らを世の光に！」今から約60年前日本の福祉をゼロから築いた糸賀一雄先生の有名な言葉です。障害のある人たちは、哀れみの存在ではなく、誰もが持つ「人間らしさ」や「尊厳」が社会の光輝く希望であると説いています。この光を輝かせるために、一人ひとりがその人らしい暮らしをつくり、共に学び支え合い、感謝の心を大切にして、活動を前進させる大会にしていきましょう。

期 日： 令和7年11月15日（土）

場 所： 高崎シティギャラリー コアホール  
住 所 群馬県高崎市高松町35-1  
電 話 027-328-5050

内 容： 式典、基調講演、シンポジウム

主 催： 全国重症心身障害児（者）を守る会関東・甲信越ブロック  
群馬県重症心身障害児（者）を守る会

後 援： 群馬県・高崎市  
群馬県社会福祉協議会・高崎市社会福祉協議会

参加者： 関東・甲信越在住の重症心身障害児者とその家族、一般参加者 約200名  
施設関係者 約30名  
教育関係者 約20名  
合 計 約250名

## 日 程

[11月15日(土)]

11:00～12:20 受 付

12:30～13:10 式 典 (司会・群馬県)  
開会の言葉、主催県挨拶、主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露

13:10～13:20 休 憩

13:20～14:20 基 調 講 演  
「いのち輝かせるために」  
～ 障害児者に豊かな明るい人生を ～  
講 師 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科  
名誉教授 大塚 晃 氏

14:20～14:30 休 憩

14:30～16:10 シンポジウム (質疑応答を含む)  
司会進行 ( 筑井 博之 氏 )

1. 「てんかん治療の展望と重症心身障害児(者)の療育・診療」  
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター  
てんかん支援拠点病院  
院長 高橋 章夫 氏
2. 「在宅生活に欠かせない短期入所支援について」  
障害児者短期入所施設 翠のこかげ  
医療法人翠和会中田クリニック  
院長 中田 裕一 氏
3. 「重症心身障害児者・医療的ケア児者と家族に必要な支援」  
群馬大学大学院保健学研究科看護学(母子看護学)  
教授 金泉 志保美 氏

16:10～16:15 次回開催県あいさつ  
千葉県支部長 田 中 鈴 子

16:15～16:20 閉会のことば  
(解 散)